

合併四年目！ 宍粟の地域福祉を検証

第2回宍粟市地域福祉のつどい

発表に感動の涙も

平成21年2月11日(祝)、宍粟市山崎文化会館にて「第2回宍粟市地域福祉のつどい」を開催し、市民約350名が参加しました。この「つどい」は、社協の目的が「地域福祉の推進」にあることから、「地域福祉のつどい」として位置づけ、2年に1回開催しているものです。

今回の開催テーマは「合併4年。宍粟の地域福祉は今!!」。平成18年に策定した本会の「第1次地域福祉推進計画(19年度から21年度)」のこの2年間の進捗状況や実践について、関係者の報告から、検証を行う目的で開催しました。

多額の寄附に 感謝状贈呈

オープニングは、山崎若葉保育園の園児による「子ども獅子舞」。主催者挨拶のあと、昨年6月、高野山真言宗播磨第九区参与会から多額の寄附いただいたことについて、同会へ感謝状の贈呈を行いました。そして来賓の白谷宍粟市長より祝辞をいただきました。

感動的な発表や 貴重な実践発表

第2部は、本会の第1次地域福祉推進計画の検証を行うフォーラムを行いました。コーディネーターに関西国際大学

の成田直志先生をお招きし、山本事務局長の基調報告のあと、介護者の会「そよかぜ」に参加されている柴原敏子さん(一宮)・男性介護者の会「つくりを切望されている中野剛志さん(山崎)」の体験発表。小地域で18年前からボランティアでひとり暮らし高齢者のつどい開催に取り組んでこられた「山崎だるまの会」の報告。さらには、昨年度、大阪ガスグループ福祉財団の助成金を活用して、ボランティアグループの立ち上げを行い、地域の高齢者や子どもたちの居場所づくりに取り組まれた「原さゆりの会」(波賀)の報告、



隔年に開催している「宍粟市地域福祉のつどい」

そして、最後は、本会の鶴崎副会長が、この2年間取り組んできた社協の組織改革について報告しました。

どの報告もとても貴重で、とくに介護者の会の柴原さんや奥さんを長年介護されている中野さんの報告は、感動的で、涙を流して聞き入る方がたくさんありました。

客席の参加者も フォーラムに参加

コーディネーターの成田先生は、それぞれの報告について、的確なコメントを加えながら、事前に参加者に配布していた赤と黄色のクリアーケ



オープニングは山崎若葉保育園の「子ども獅子舞」